

2014年10月30日 ぜんせきWEB

エネ庁東北経産局 石油製品輸送訓練を実施

自衛隊ローリーで輸送 SSの荷卸しまで

資源エネルギー庁、東北経済産業局は11月7日に、陸上自衛隊東北方面隊の震災対処訓練「みちのくアラート2014」の一環として大規模 災害に対応した石油製品輸送支援訓練を行う。今回の訓練では自衛隊のタンクローリーが初めて民間の油槽所、製油所に入り、災害時の燃料供給拠点のSSまで輸送を実施する。宮城石商・協(佐藤義信理事長)は今後の災害対応に備えてJX日鉱日石エネルギー・仙台製油所での積込み、SSでの荷卸し作業などの視察を行う(一部既報)。



丸山・亘理中央SSでは本番の訓練に備えて事前の打ち合わせが行われた

今回の訓練は東日本大震災での経験を踏まえてエネ庁、東北経産局が広域・大規模災害に備えて、人命救助を行う自衛隊への石油供給の円滑化と、自衛隊による避難所などで使用する民生用石油輸送の体制強化に向けた合同実働訓練として実施する。訓練にはJX日鉱日石エネルギー・仙台製油所、出光興産・塩釜油槽所と丸山・亘理中央SS(佐藤義信社長・JX系)の協力を得て、みちのくアラート2014と「津波防災の日(11月5日)」の一環として実施する。

3・11では石油輸送が困難となり給油ができなくなった地域が発生した。エネ庁の要請で自衛隊がドラム缶で軽油などを搬送し対応したが、様々な調整課題が明らかとなったほか、給油インフラ被災が自衛隊の人命救助活動に影響を与える可能性も認識された。

これらの経験を踏まえてエネ庁と防衛省は今年6月、「14年度自衛隊統合防災演習」で緊急時の石油輸送円滑化に向けて初めての合同訓練をコスモ石油堺製油所で実施した。同訓練では堺製油所で自衛隊がドラム缶を搬入し、軽油、A重油の搬出を行った。

今回は広範囲な実働訓練として実施する。訓練は宮城県沖を震源とする大規模地震の発生を想定。発災当初における燃料の急激な需要増大に伴う自衛隊への石油供給を想定し、製油所、油槽所において自衛隊のタンクローリーが直接、燃料を受領する。さらに自衛隊でなければ輸送できない限定的な場面を想定し、緊急救命用の石油を供給するSSに自衛隊の6輪駆動のタンクローリー(6キ)による輸送を行う。今回は軽油1キをSSまで輸送し、実際に荷卸しまで行う。

丸山・亘理中央SSは3・11では津波で被災しながらも、発災直後から手回しで、ガソリン、灯油の給油を行った。震災後は中核SSとして整備した。

東北

東北支局 (仙台市青葉区二日町
12-9 宮城県石油会館)
022(225) 1967

石油製品輸送訓練実施へ



丸山・亘理中央SSでは本番の訓練に備えて事前の打ち合わせが行われた

資源エネルギー庁、東北経済産業局は11月7日に、陸上自衛隊東北方面隊の震災対応訓練「みちのくアラート2014」の一環として大規模災害に対応した石油製品輸送支援訓練を実施する。今回の訓練では自衛隊のタンクローリーが初めて民間の油槽所、製油所に入り、災害時の燃料供給拠点のSSまで輸送を行う。宮城石商・協(佐藤義信理事長)は今後の災害対応に備えてJX日鉱日石エネルギー・仙台製油所での積み込み、SSでの荷卸し作業などの視察を行う(一部既報)。

自衛隊ローリーで輸送

SSでの荷卸しまで

工 庁・
東 北 経 産 局

今回の訓練は東日本大震災での経験を踏まえてエネ庁、東北経済産業局が広域・大規模災害に備え

て、人命救助を行う自衛隊への石油供給の円滑化など、自衛隊による避難所などで使用する民生用石油輸送の体制強化に向けた合同実働訓練として実施する。訓練にはJX日鉱日石エネルギー・仙台製油所、出光興産・塩釜油槽所と丸山・亘理中央SS(佐藤義信社長・JX系)の協力を得て、「みちのくアラート2014」と「津波防災の日(11月5日)」の一環として実施する。

3・11では石油輸送が困難となり給油ができなくなった地域が発生した。エネ庁の要請で自衛隊がドラム缶で軽油などを搬送し対応したが、様々な調整課題が明らかとなったほか、給油インフラ被災が自衛隊の人命救助活動に影響を与える可

能性も認識された。これらの経験を踏まえてエネ庁と防衛省は今年6月、「14年度自衛隊統合防災演習」で緊急時の石油輸送円滑化に向けて初めての合同訓練をコスモ石油堺製油所で実施した。同訓練では堺製油所で自衛隊がドラム缶を搬入し、軽油、A重油の搬出を行った。今回は広範囲な実働訓練として実施する。訓練は宮城県沖を震源とする大規模地震の発生を想定。発災当初における燃料の急激な需要増大に伴う自衛隊への石油供給を想定し、製油所、油槽所において自衛隊のタンクローリーが直接、燃料を受領する。さらに自衛隊でなければ輸送できない限定的な場面を想定し、緊急救命用の石油を供給するSSに自衛隊の6輪駆動のタンクローリー(6キ)による輸送を行う。今回は軽油1キをSSまで輸送し、実際に荷卸しまで行う。

丸山・亘理中央SSは3・11では津波で被災しながらも、発災直後から手回しで、ガソリン、灯油の給油を行った。震災後は中核SSとして整備している。